

## 8. 落下物防止柵

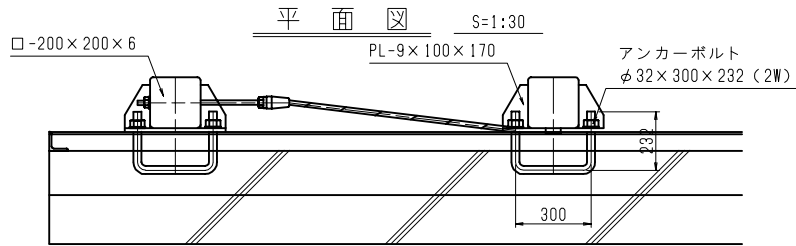




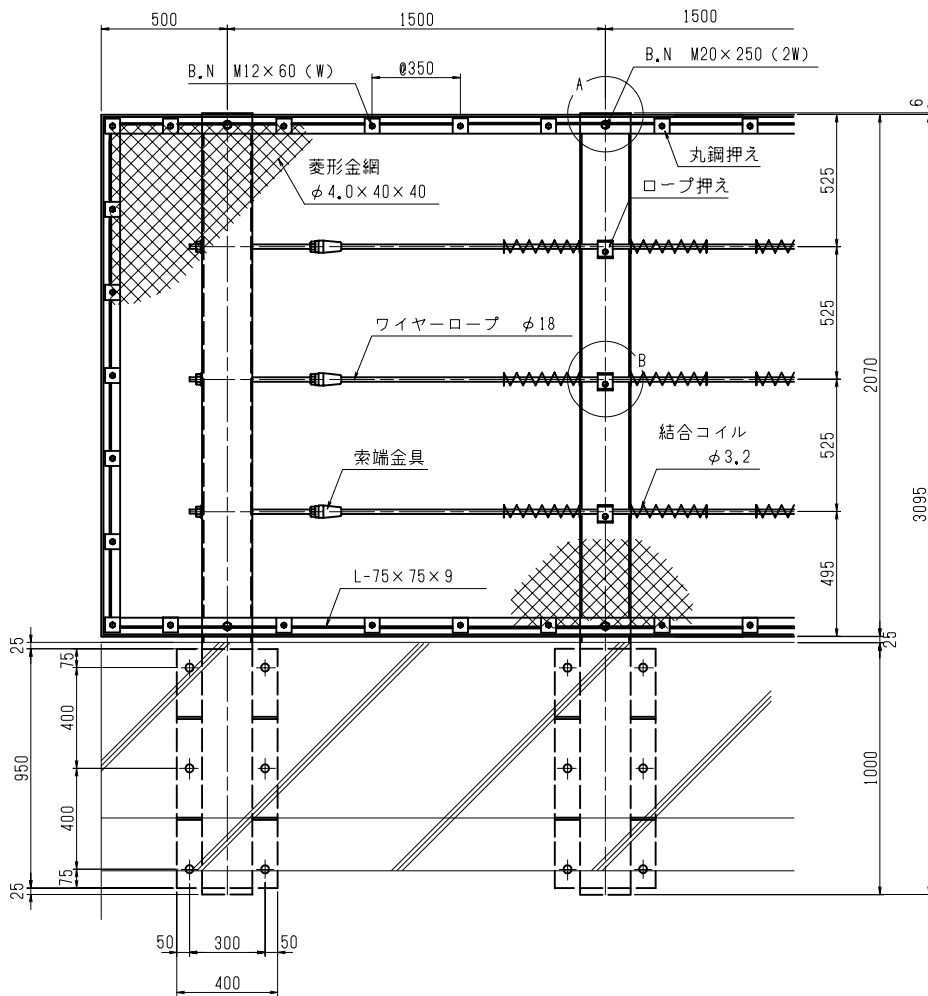


高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 橋梁部 (鉄道)	

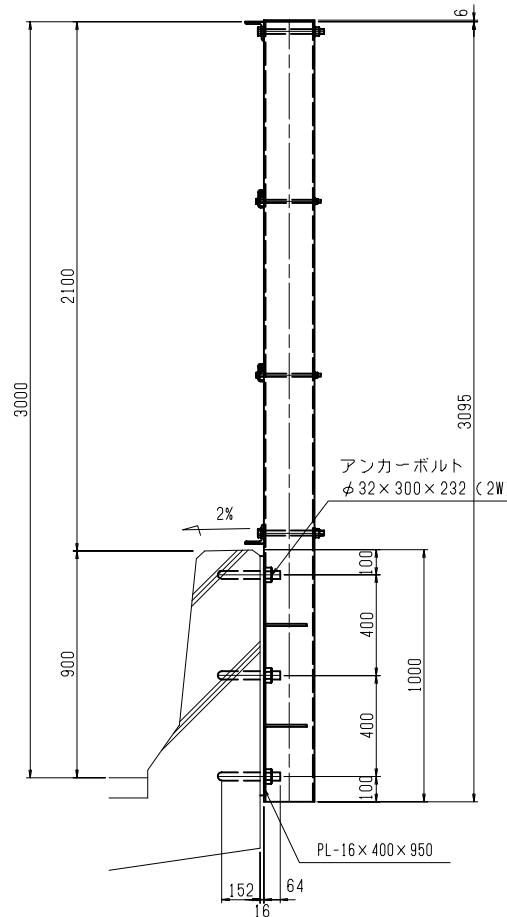
単位: mm



正面図 S=1:30



側面図 S=1:30

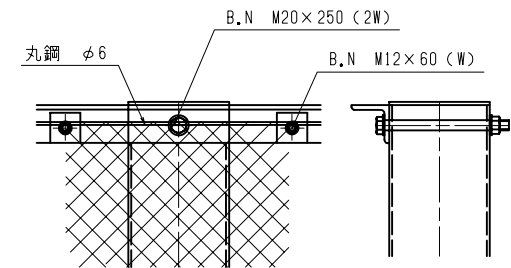


材料表

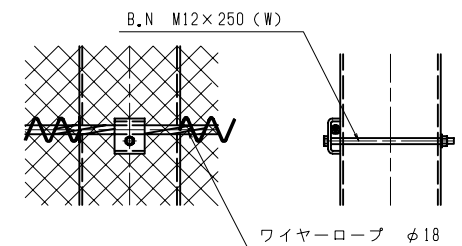
材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
ベースプレート	PL-400×16×950	SS400
胴縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
ワイヤーロープ	φ18 (3×7φ/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMS-7
結合コイル	φ3.2	SWR
アンカーボルト	φ32	SS400
ボルト・ナット	M20, M16, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
結合コイルはワイヤーロープと菱形金物の結合部に使用する。  
結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

A部詳細図 S=1:15



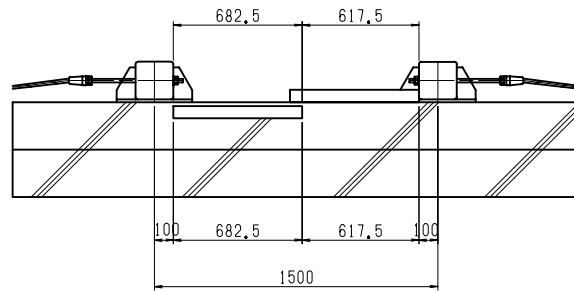
B部詳細図 S=1:15



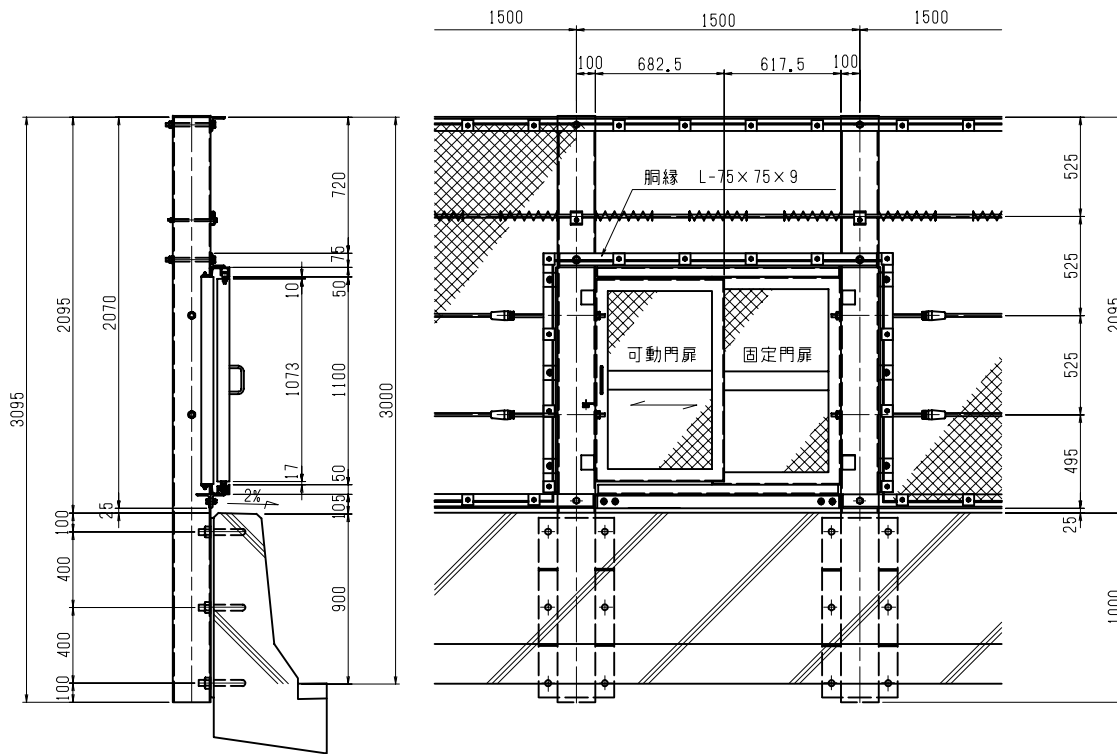
高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 橋梁部 (鉄道) 扉部	

単位: mm

平面図 S=1:40



正面図 S=1:40

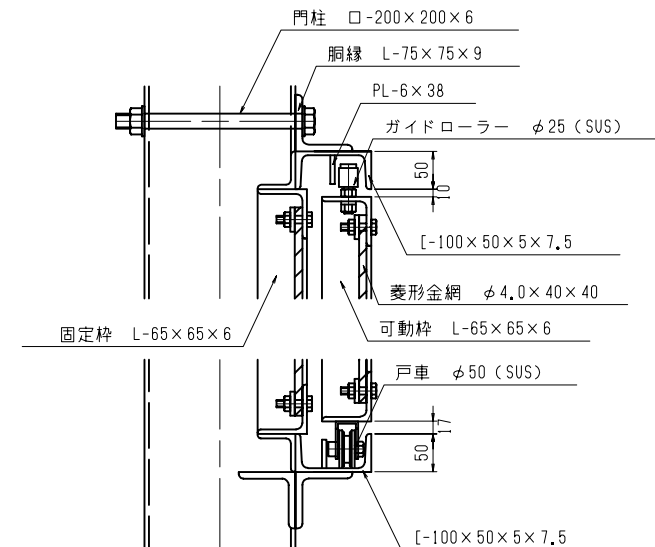


材料表

材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
ベースプレート	PL-400×16×950	SS400
胴縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
門扉枠	L-65×65×6	SS400
ガイドローラー	φ25	SUS304
戸車	φ50	SUS304
ワイヤーロープ	φ18 (3×76/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMGS-7
結合コイル	φ3.2	SWR
アンカーボルト	φ32	SS400
ボルト・ナット	M20, M16, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。

取付詳細図 S=1:10

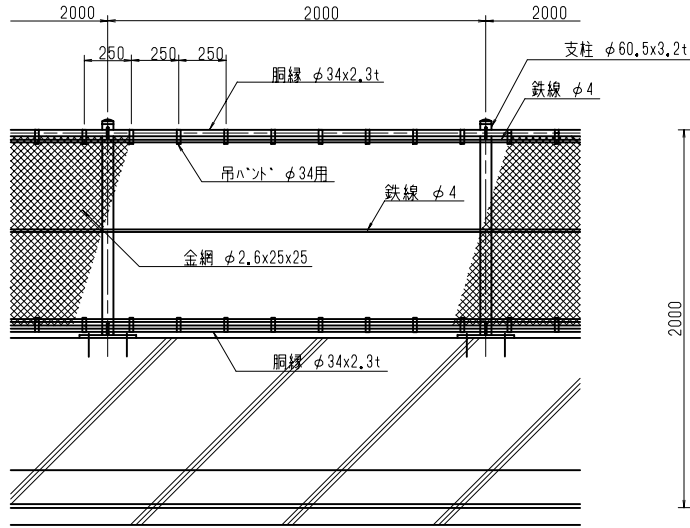


高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 橋梁部 (道路及び民家等)

単位 : mm

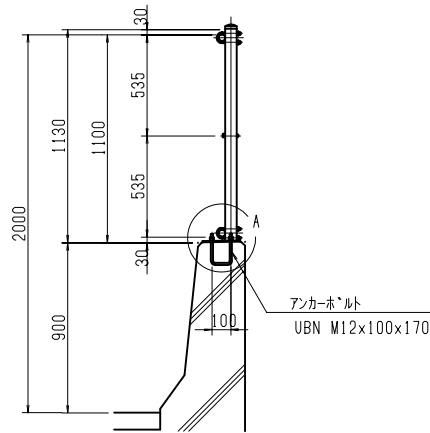
正面図

S=1:40



側面図

S=1:40



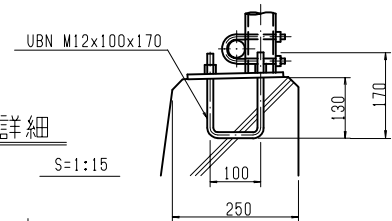
材料表

材料	形状	材質
支柱	φ60.5×3.2	STK400
ベースプレート	PL-9×180×300	SS400
胴縁	φ34.0×2.3	STK400
菱形金網	φ2.6×25×25	Z-GS7
鉄線	φ4	SWMS-7
吊金具	φ34用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR
アンカーボルト	M12	SS400

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

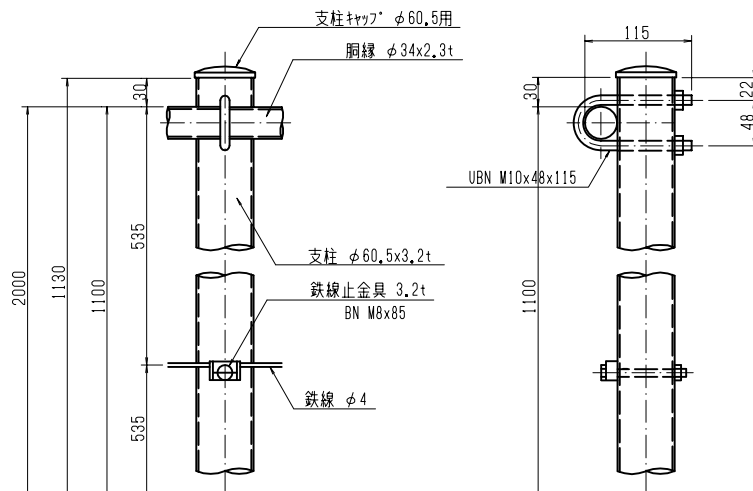
A部詳細

S=1:15



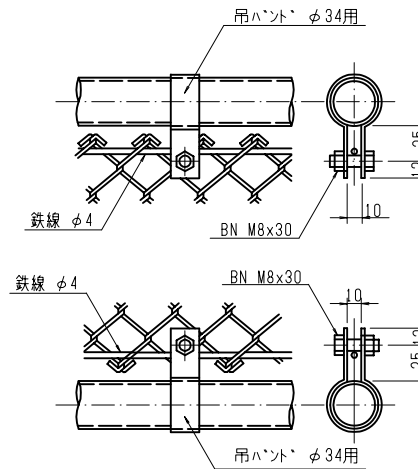
取付詳細図

S=1:8



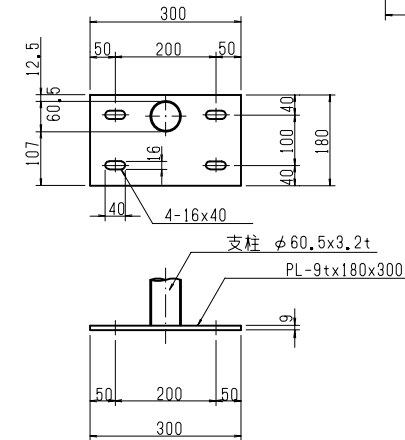
金網取付詳細図

S=1:5



ベースプレート詳細

S=1:15

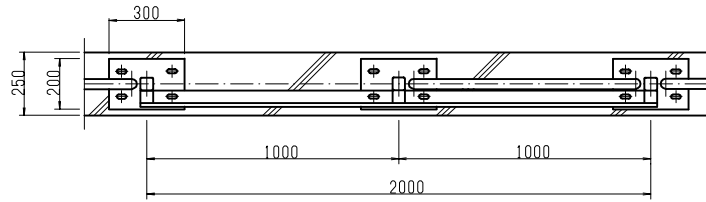


\*剛性防護柵天端2%勾配による差はそれぞれにて調整の事。

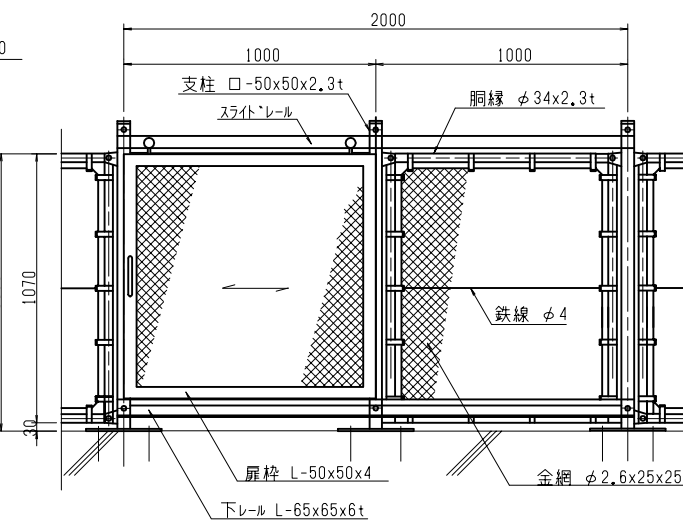
高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 橋梁部 (道路及び民家等) 扉部	

単位: mm

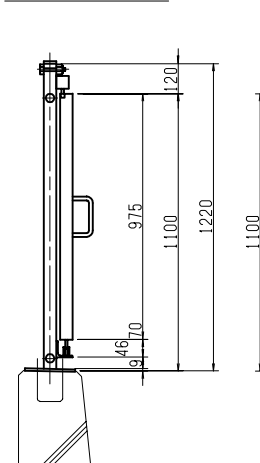
平面図 S=1:30



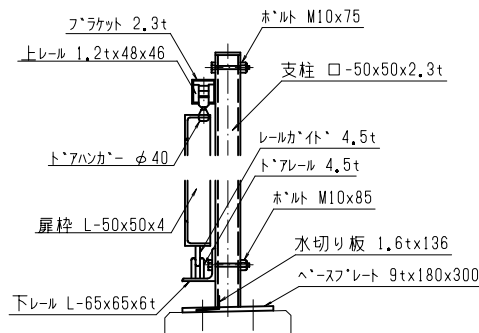
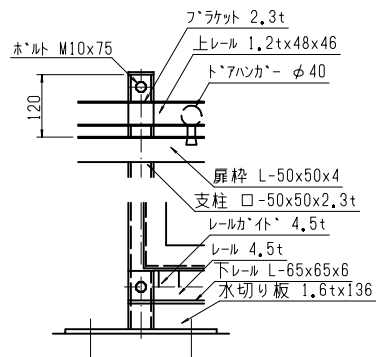
正面図 S=1:30



側面図 S=1:30



取付詳細図 S=1:15

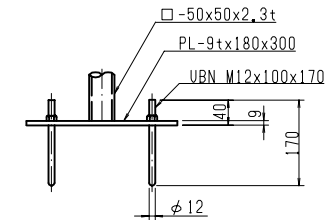
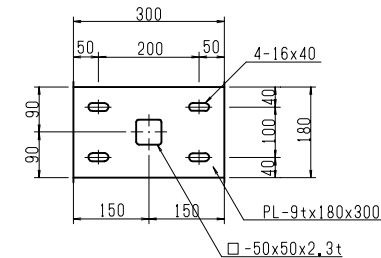


材料表

材料	形状	材質
支柱	□-50×50×2.3	STKR400
ベースプレート	PL-9×180×300	SS400
菱形金網	φ2.6×25×25	Z-6S7
胴縁	φ34.0×2.3	STK400
門扉枠	L-50×50×4	SS400
上レール	PL-1.2×48×46	SUS304
下レール	L-65×65×6	SS400
アンカーボルト	M12	SS400
ボルトナット	M10	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

ベースプレート S=1:15



\*剛性防護柵天端2%勾配による差はモルタルにて調整の事。

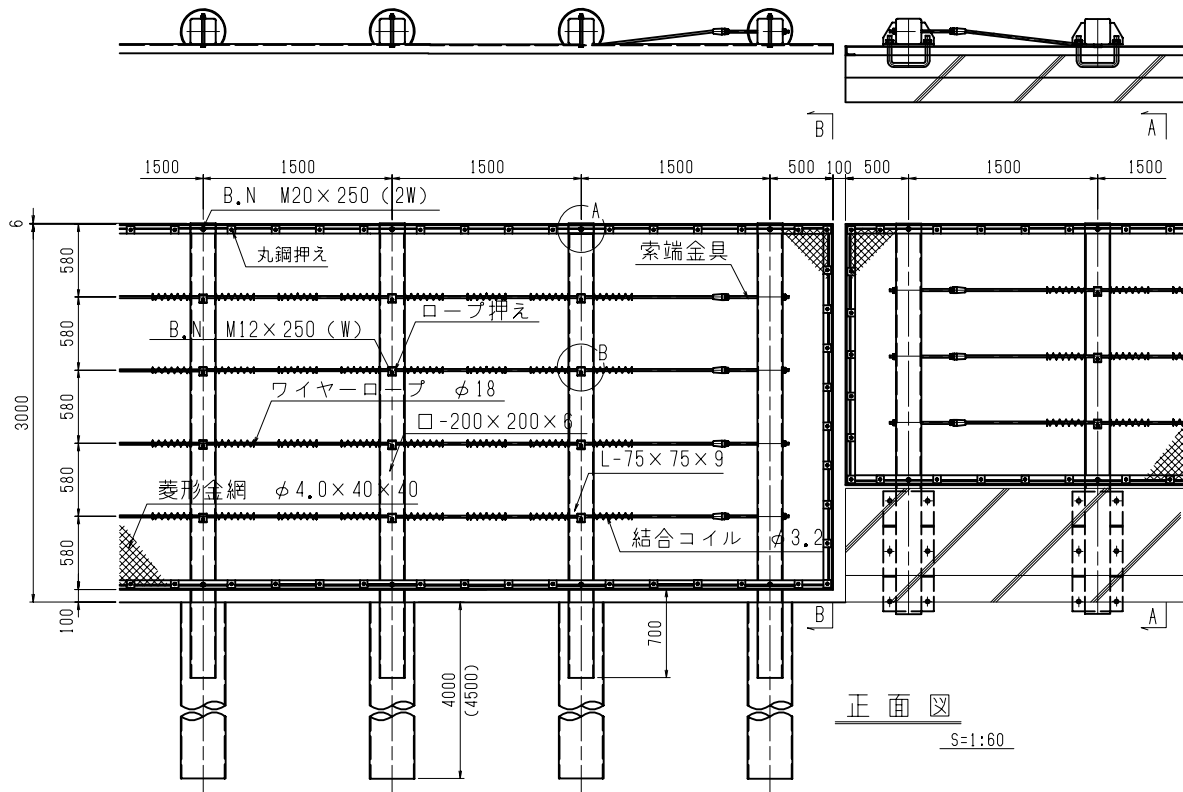


高規格	図面記号	落-落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵-土工部(鉄道)その1	

単位: mm

平面図

S=1:60



正面図

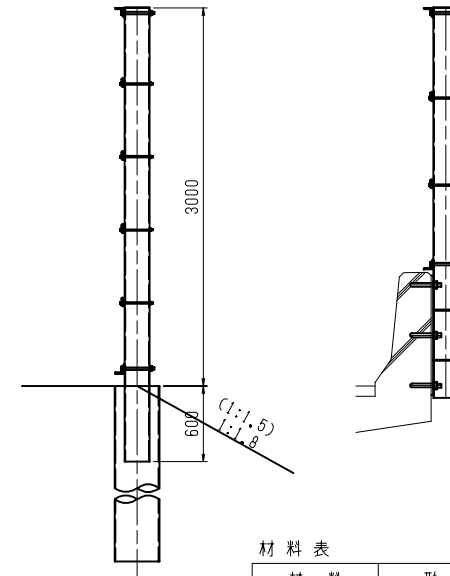
S=1:60

B - B

S=1:60

A - A

S=1:60



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
 土の内部摩擦角 25°  
 N値 10相当  
 ( ) は盛土勾配 1:1.5

材料表

材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
鋼縁	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
ワイヤロープ	φ18 (3×76/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMG5-7
結合コイル	φ3.2	SWR
ボルト・ナット	M20, M12	SWR
鋼管杭	φ355, 6×6, 4	STK400
スパイラル鉄筋	φ10	SD295
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =210kg/cm <sup>2</sup>	

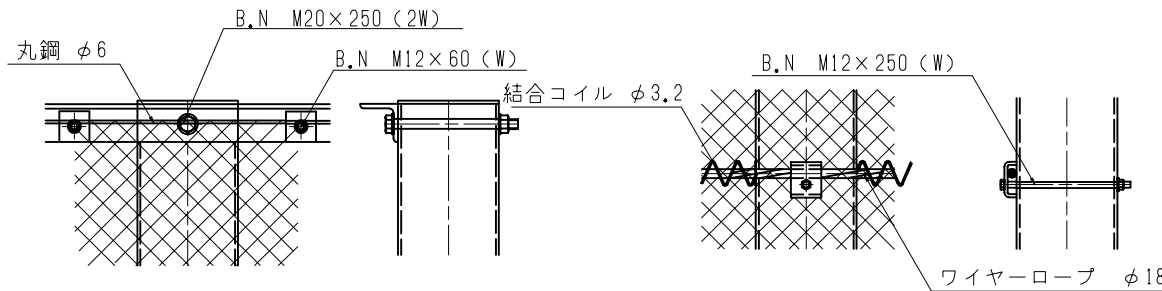
注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
 めっき付着量は、道路設計費領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
 結合コイルはワイヤロープと菱形金物の結合部に使用する。  
 結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

A部詳細図

S=1:15

B部詳細図

S=1:15

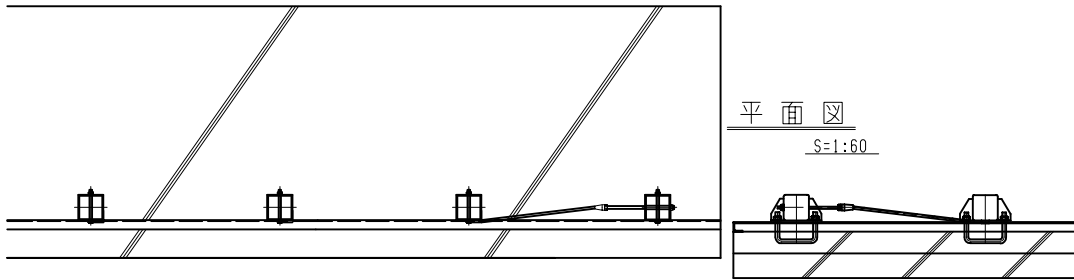


高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 土工部 (鉄道) その2	

単位 : mm

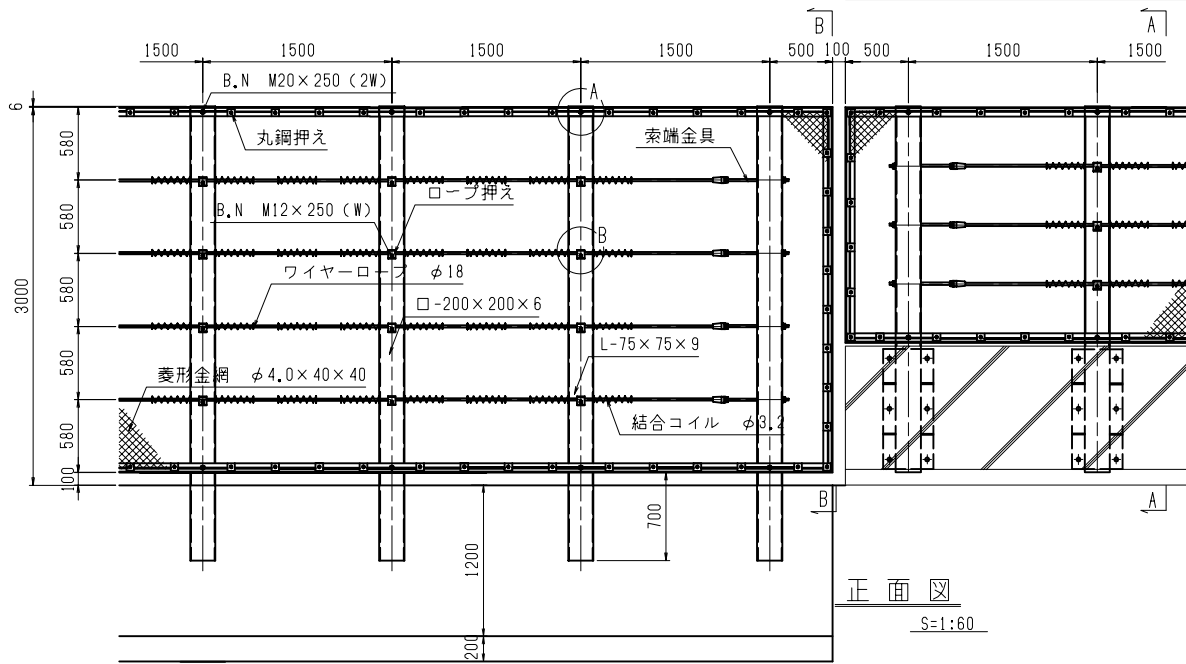
平面図

S=1:60



正面図

S=1:60

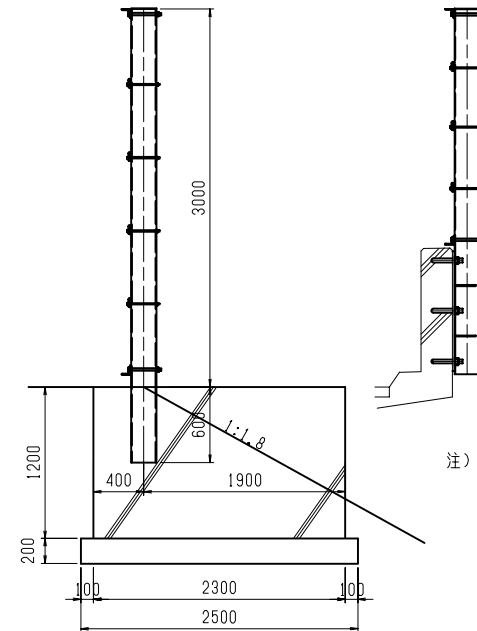


B - B

S=1:60

A - A

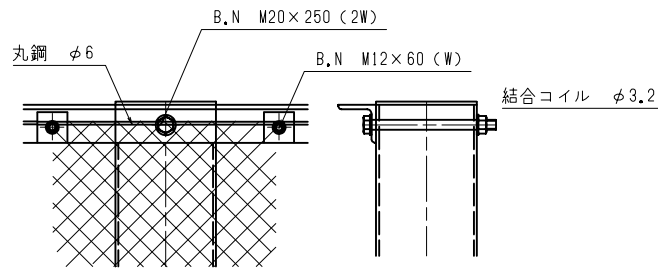
S=1:60



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当

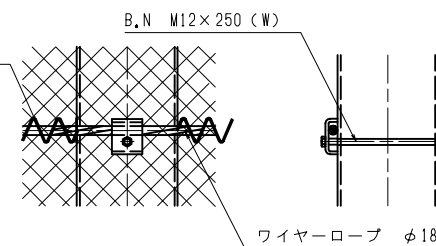
A部詳細図

S=1:15



B部詳細図

S=1:15



材料表

材料	形状	材質
支柱	□-200×200×6	STKR400
胴	L-75×75×9	SS400
菱形金網	φ4×40×40	Z-6S7
ワイヤロープ	φ18 (3×7φ/0)	普通Zより
丸鋼	φ6	SWMS-7
結合コイル	φ3.2	SWR
ボルト・ナット	M20, M12	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
結合コイルはワイヤロープと菱形金物の結合部に使用する。  
結合コイルは1スパンに3個50cm毎に設置する。

高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 土工部 (道路及び民家等) その1	

組立図

S=1:50

平面図

材料表 単位: m m

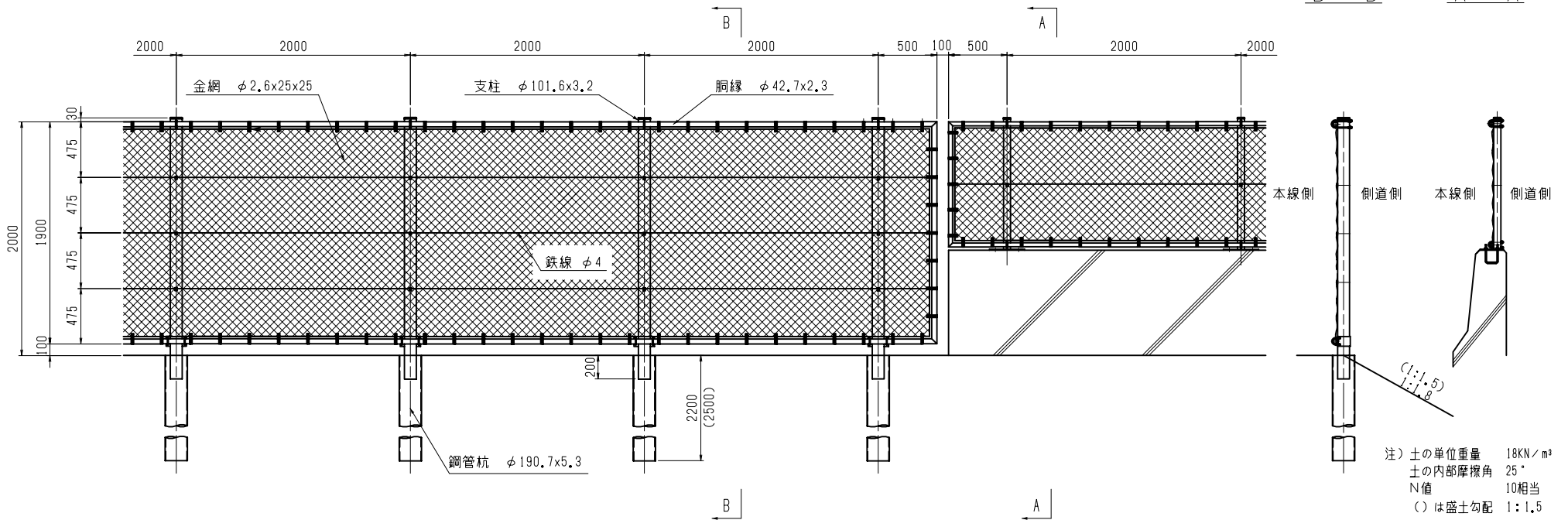
材 料	形 状	材 質
支 柱	φ101.6×3.2	STK400
胴 縁	φ42.7×2.3	STK400
菱 形 金 網	φ2.6×25×25	Z-6S7
鉄 線	φ4	SWMGS-7
吊 金 具	φ42.7用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR
鋼 管 杭	φ190.7×5.3	STK400
スパイラル鉄筋	D10	SD295
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =210kg/cm <sup>2</sup>	



正面図

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。

B - B A - A

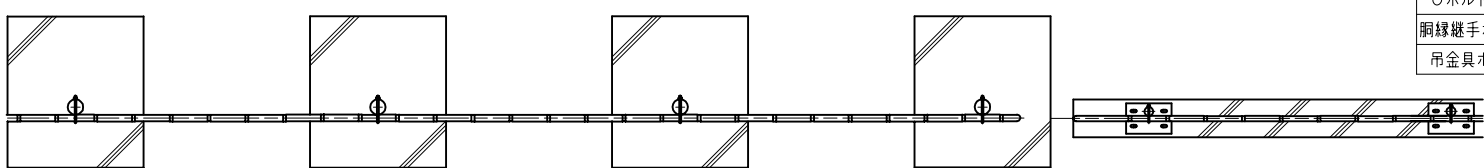


注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当  
( ) は盛土勾配 1:1.5

高規格	図面記号	落 - 落下物防止柵	H22
幹線道路	名称	落下物防止柵 - 土工部 (道路及び民家等) その2	

組立図

平面図

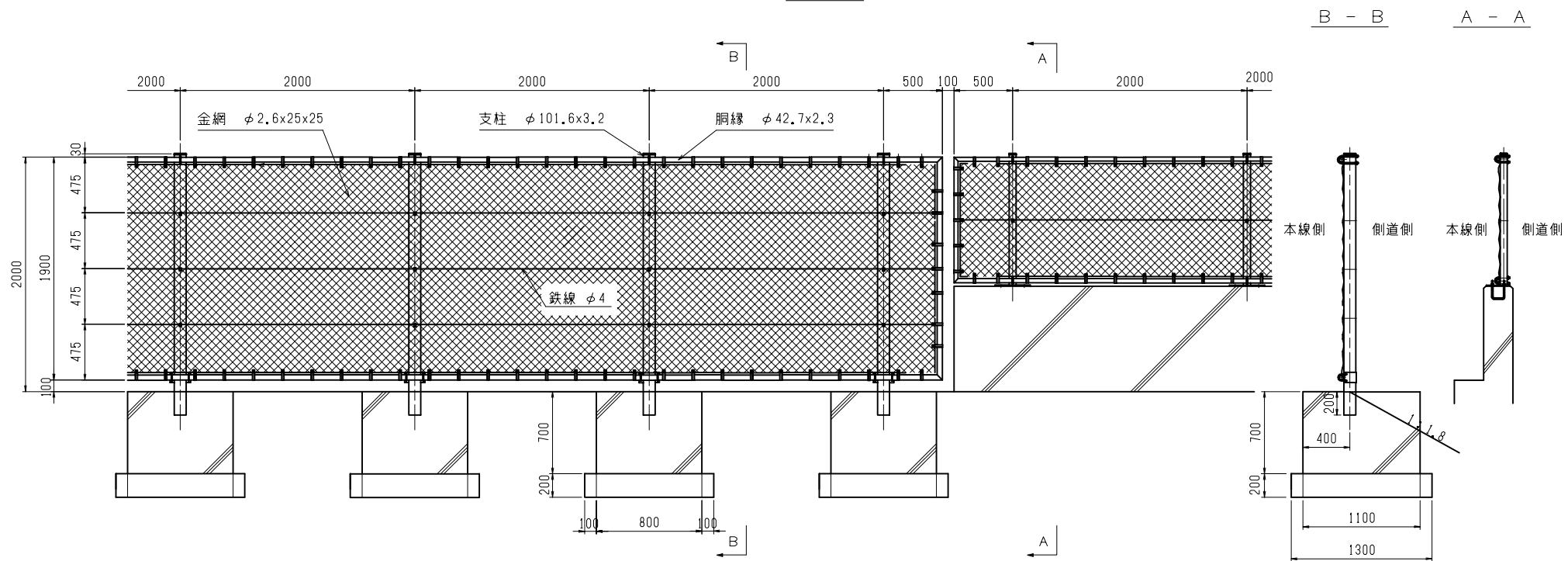


材料表 単位: m m

材料	形状	材質
支柱	φ101.6×3.2	STK400
胴縁	φ42.7×2.3	STK400
菱形金網	φ2.6×25×25	Z-6S7
鉄線	φ4	SWMG5-7
吊金具	φ42.7用	SS400・SPHC
Uボルト・ナット	M10	SWR
胴縁継手ボルト・ナット	M8	SWR
吊金具ボルト・ナット	M8	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。

正面図



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当

高規格	図面記号	落 - 飛雪防止柵	H22
幹線道路	名称	飛雪防止柵 - 橋梁部	

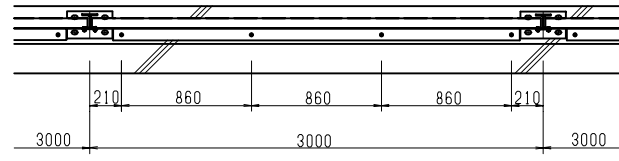
単位：mm

材料表

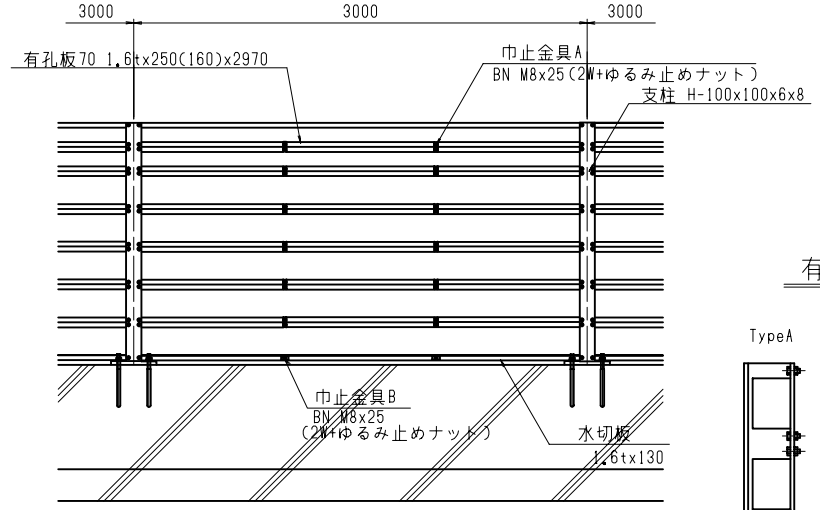
材料	形状	材質
支柱	H-100×100×6×8	SS400
ベースプレート	PL-22×180×300	SS400
有孔板(70)	PL-1.6×250(160)	SS400
水切板	PL-1.6×130	SS400
アンカーボルト	D22 M20(支柱用)	SD345
アンカーボルト	M8(水切板用)	—
ボルトナット	M8(2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部品の防錆方法は溶融亜鉛メッキとし、メッキ付着量はめっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
有孔板はA,B,Cタイプの中から選択するものとする。  
(有孔板30%)  
支柱アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

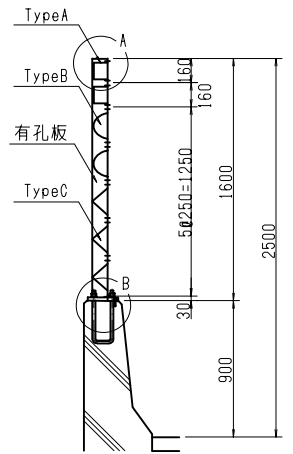
平面図 S=1:50



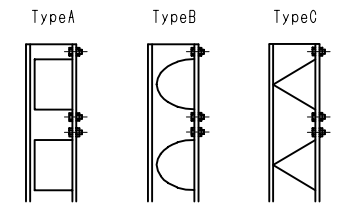
正面図 S=1:50



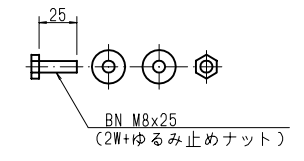
側面図 S=1:50



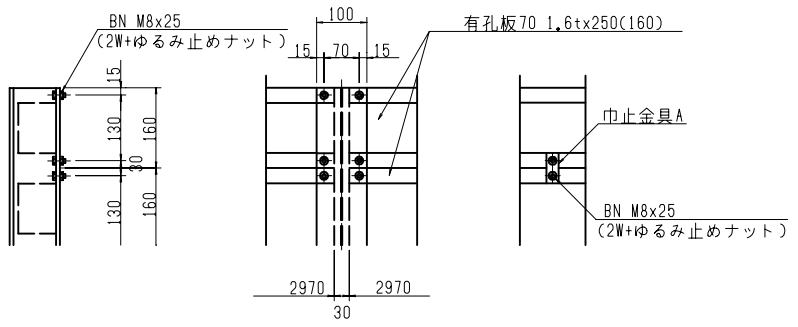
有孔板詳細図 S=1:15



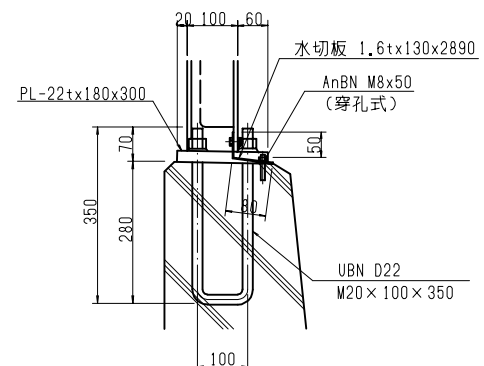
ボルトナット S=1:5



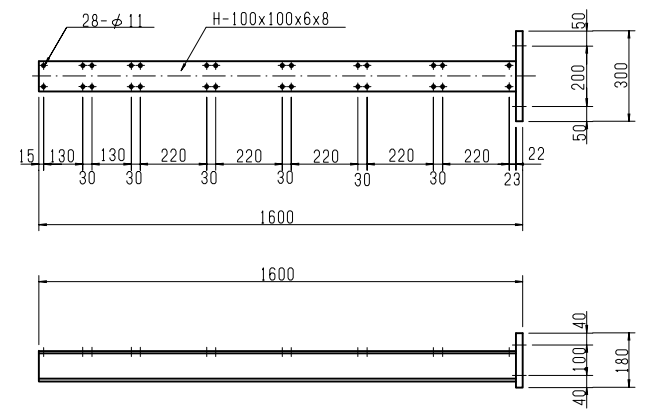
A 取付詳細図 S=1:15



B 取付詳細図 S=1:15



支柱詳細図 S=1:25



\* 剛性防護柵天端で2%勾配による差はモルタル・ライナープレートにて調整の事。

高規格	図面記号	落 - 飛雪防止柵
幹線道路	名称	飛雪防止柵 - 橋梁部扉部

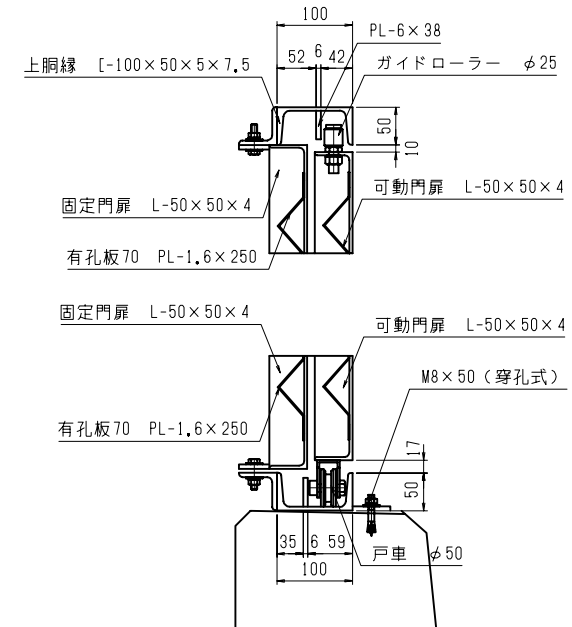
単位：mm

材料表

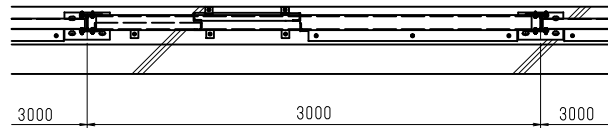
材料	形状	材質
支柱	H-100×100×6×8	SS400
ベースプレート	PL-22×180×300	SS400
有孔板(70)	PL-1.6×250(160)	SS400
上・下胴縁	[-100×50×5×7	SS400
門扉枠	L-50×50×4	SS400
中間柱	L-50×50×6	SS400
ガイドローラー	φ25	SUS304
戸車	φ50	SUS304
アンカーボルト	D22 M20(支柱用)	S0345
アンカーボルト	M8(下胴縁用)	—
ボルトナット	M8(2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
支柱アンカーボルトのコンクリート埋込部はメッキしない事。

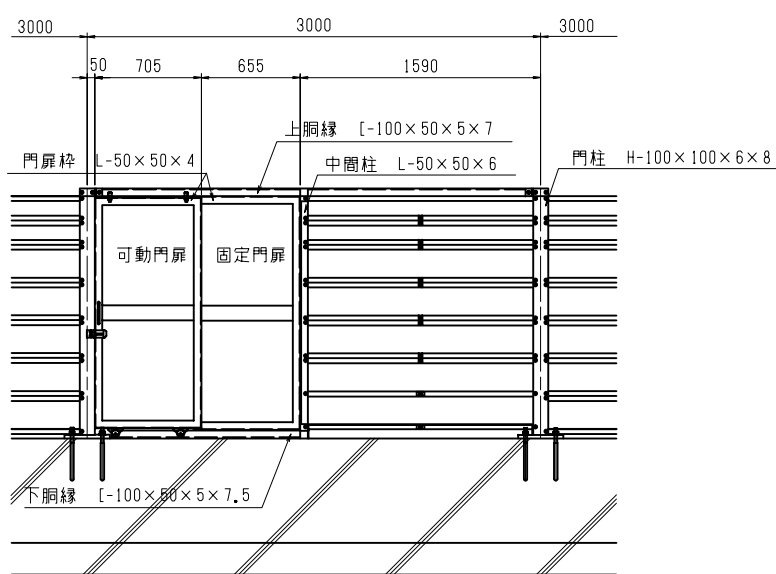
A・B部詳細図 S=1:10



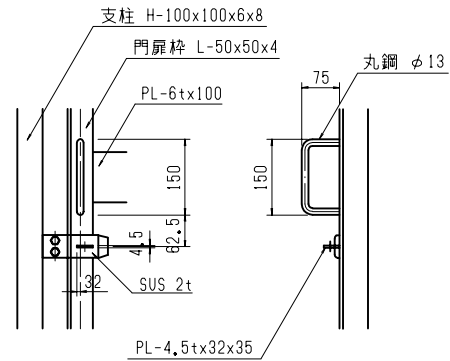
平面図 S=1:50



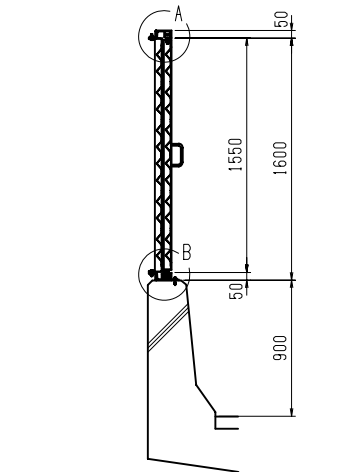
正面図 S=1:50



C部詳細図 S=1:15



側面図 S=1:50



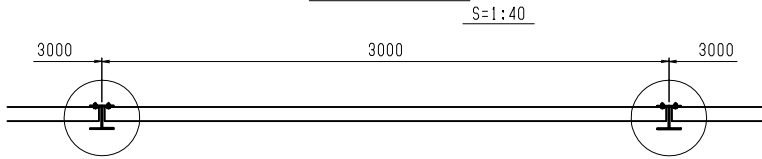
高規格 幹線道路	図面記号 名称	落 - 飛雪防止柵 飛雪防止柵 - 土工部その1	H22
-------------	------------	-----------------------------	-----

材料表

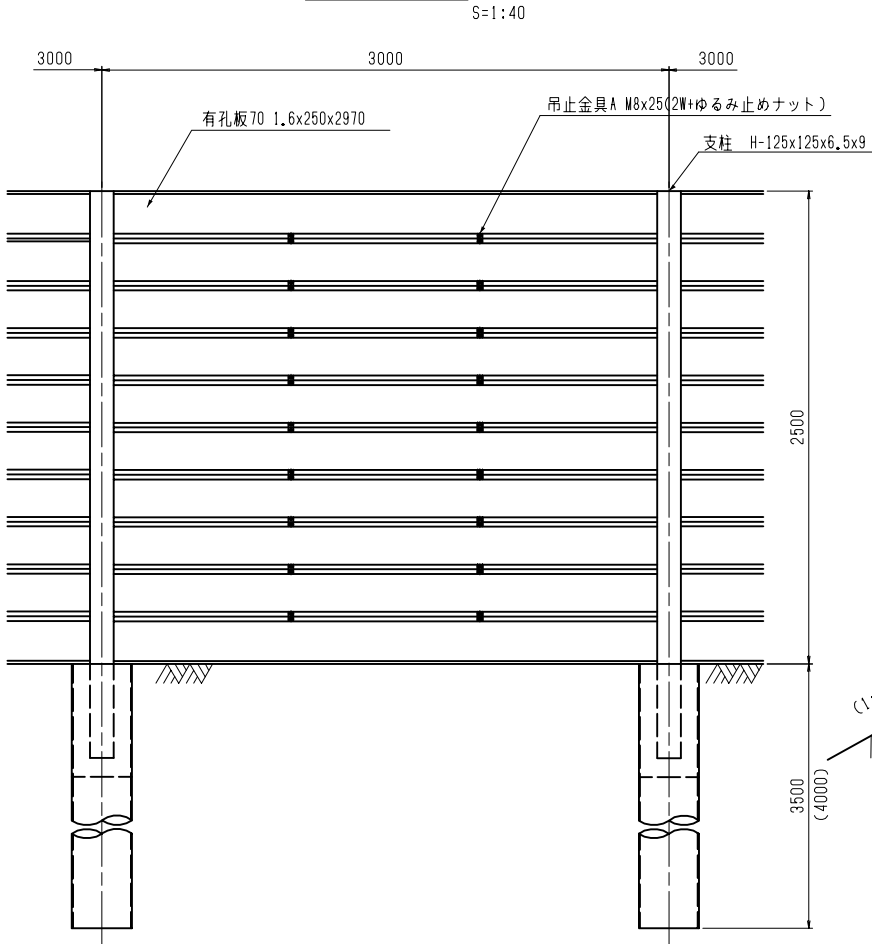
材料	形状	材質
支柱	H125×125×6.5×9	SS400
有孔板(70)	PL-1.6×250	SS400
ボルトナット	M8×25(2W+ゆるみ止めナット)	SWR
鋼管杭	φ318,5×6	STK400
スパイラル鉄筋	D10	SD295
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =210kg/cm <sup>2</sup>	

単位: mm

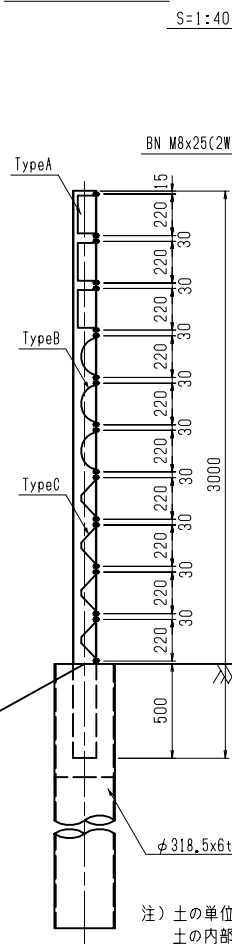
平面図



正面図

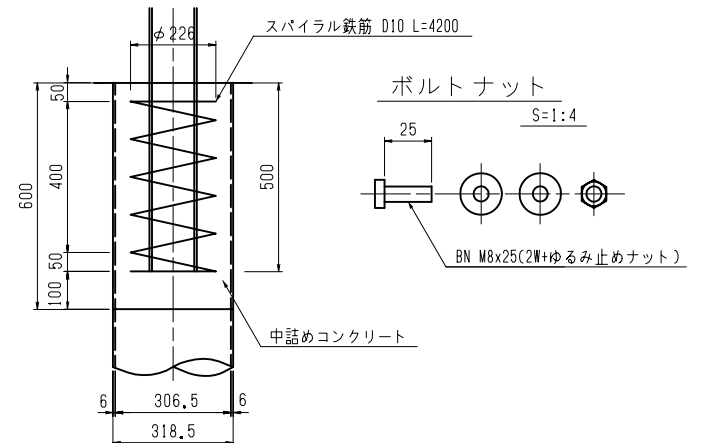
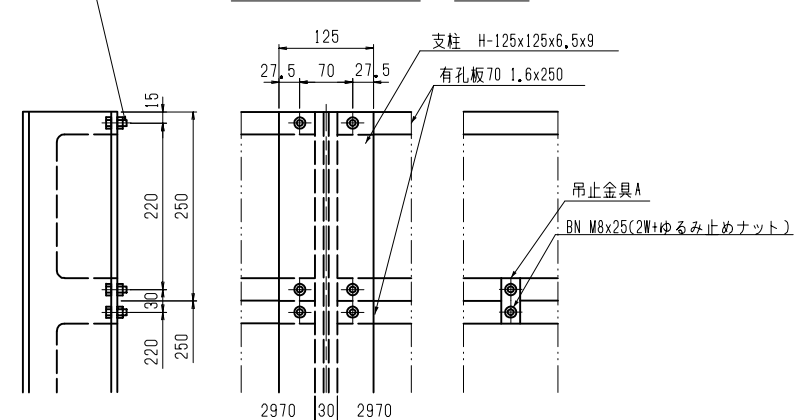


側面図



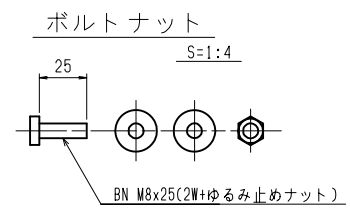
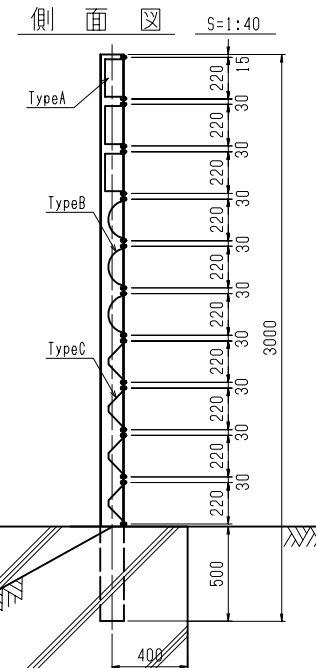
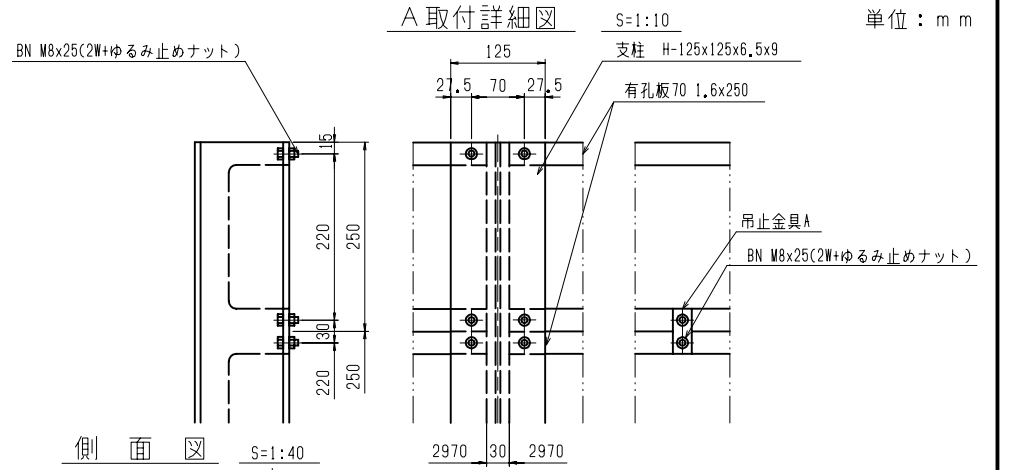
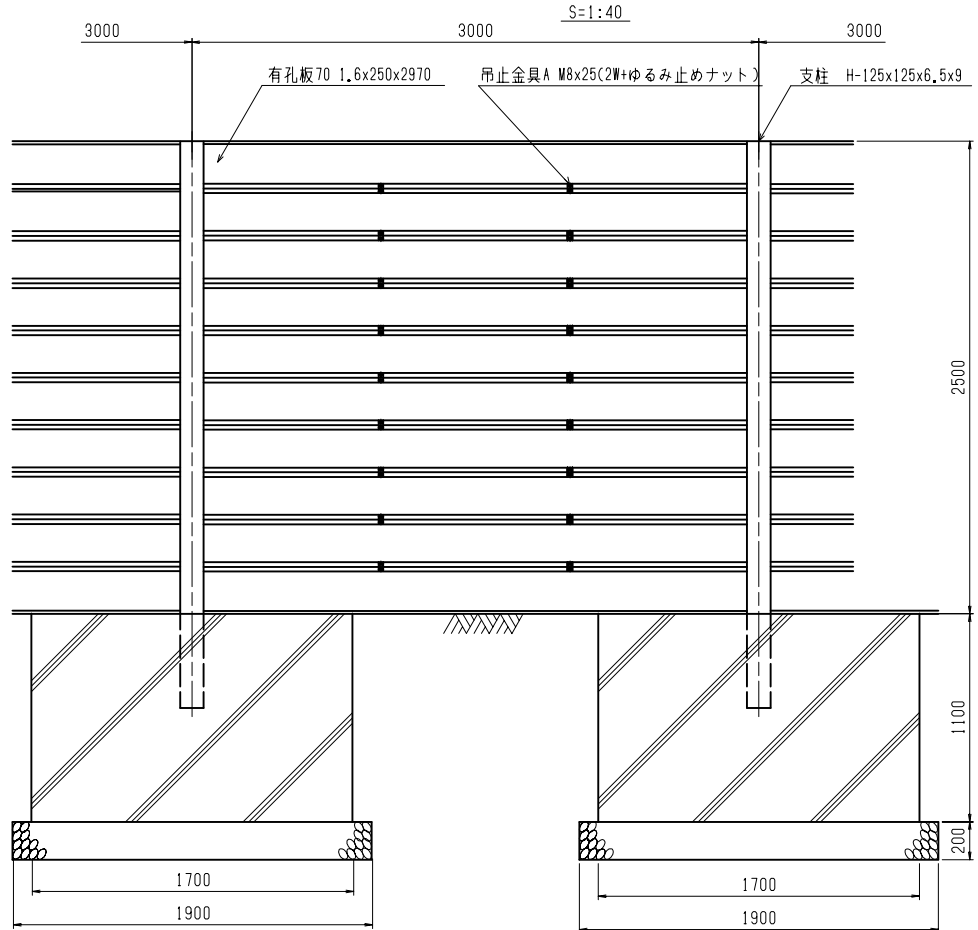
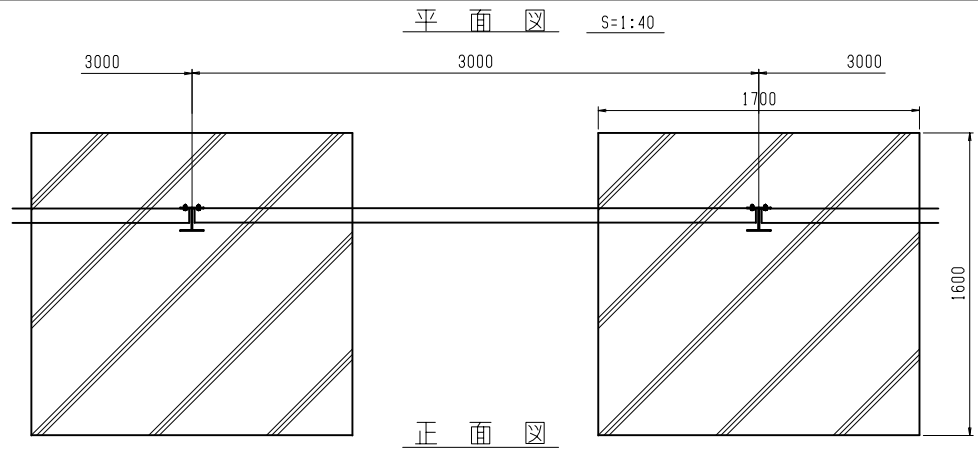
注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁  
「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
有孔板は、A・B・Cタイプの中から選択するものとする。(有孔率30%)

A 取付詳細図



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
土の内部摩擦角 25°  
N値 10相当  
( ) は盛土勾配 1:1.5

高規格 幹線道路	図面記号 名称	落 - 飛雪防止柵 飛雪防止柵 - 土工部その2	H22
-------------	------------	-----------------------------	-----



注) 土の単位重量 18KN/m<sup>3</sup>  
 土の内部摩擦角 25°  
 N値 10相当

材料表 単位:mm

材料	形状	材質
支柱	H125×125×6.5×9	SS400
有孔板(70)	PL-1.6×250	SS400
ボルトナット	M8×25(2W+ゆるみ止めナット)	SWR

注) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。  
 めっき付着量は、道路設計要領 第3章 橋梁  
 「2.2.6 鋼材の防せい・防食」に準拠すること。  
 有孔板は、A・B・Cタイプの中から選択するものとする。(有孔率30%)